



® 平成 30 年 11 月 22 日 (木)

No. 14820 1部370円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円  
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び  
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

## 目次

☆地域における観光と知的財産の関連性 (38) … (1)

☆知的財産関連ニュース報道(韓国版) …… (10)

# 地域における観光と知的財産の関連性 (38)

東京理科大学経営学研究科教授

教授 生越 由美

## 第5章 地域における事例

### 35. 北海道十勝地域(商標権、著作権)

北海道には多くの市町村があるので、少し大きい地域の単位で紹介する。今回は「十勝地域」に属する19市町村を検討する。

19市町村とは、帯広市、新得町、清水町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、

足寄町、陸別町、浦幌町である。

#### (1) 地理

北海道の「十勝地域」とは、北海道の南東部に位置する広域行政区の総称である。北海道の14総合振興局・振興局の中でも総面積が最も広く10,831.62 km<sup>2</sup>もあり、北海道全体の約13%の面積を占めている。都道府県別面積と比較すると、日本で7番目に大きい「岐阜県」と、ほぼ同じ大き



鈴榮特許総合事務所  
SUZUYE & SUZUYE

〒105-0014 東京都港区芝3丁目23番1号 セレスティン芝三井ビルディング11階  
電 話 東京03(6722)0800(大代表) URL <http://www.s-sogo.jp/>

所 長 ○弁理士 蔵田 昌俊(電気・通信)  
副所長 ※弁理士 野河 信久(電子・通信)  
理 事 弁理士 飯野 茂 (物理・計測・分析)  
常務顧問 ※弁理士 峰 隆司(電気・電子・通信)  
顧 問 弁理士 鶴岡 健 (生命工学)  
△※弁理士 岡田 貴志(電子・ニューヨーク州弁理士)  
弁理士 永島 建治(機械)  
弁理士 片岡 耕作(機械・制御)  
※弁理士 宮田 良子(電気・電子)  
※弁理士 朝倉 傑 (電子・通信)  
弁理士 辻本 典子(バイオ)  
弁理士 柴田紗知子(物理)  
弁理士 土田 新 (機械・バイオ)

所長代行 ※弁理士 小出 俊實(商標意匠・不正競争)  
副所長 弁理士 井上 正 (電子・情報・通信)  
理 事 弁理士 森川 元嗣(機械)  
常務顧問 弁理士 河野 直樹(化学)  
※弁理士 金子 早苗(化学)  
※弁理士 幡 茂良(商標意匠・不正競争)  
※弁理士 矢野ひろみ(海外商標)  
弁理士 飯田 浩司(機械・電気・医療機器)  
弁理士 堂前 俊介(電気・電子)  
弁理士 廣瀬 明彦(情報・通信・医療機器)  
※弁理士 橋本 良樹(商標意匠・不正競争)  
弁理士 佐藤明日香(電気・通信)

所長代行 弁理士 福原 淑弘(電気・電子・通信)  
□ 弁理士 金子 博人(知的財産法務)  
理 事 弁理士 矢頭 尚之(電子・通信)  
常務顧問 弁理士 井関 守三(電子・通信)  
※弁理士 佐藤 立志(電子・通信・ソフトウェア)  
弁理士 堀内美保子(化学・バイオ)  
弁理士 中島 千尋(機械・制御)  
※弁理士 清水千恵子(海外商標)  
※弁理士 石川 真一(機械・バイオ・医療機器)  
弁理士 中丸 慶洋(電子・情報処理)  
※弁理士 角田さやか(機械)  
弁理士 井上 高広(電子・半導体)

○米国パテントエージェント(合格) ※付記弁理士(特定侵害訴訟代理) △ニューヨーク州弁理士 □顧問弁理士

【顧問法律事務所】 弁理士法人 内田・鮫島法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目10番1号 虎ノ門ソインビルディング東棟16階 電話(03)5561-8550(代表) FAX(03)5561-8558 URL <http://www.uslf.jp/>

さに相当し、1番小さな「香川県」や「大阪府」と比較すると約6倍の広さがある。

人口は約36万人。1市16町2村で構成されている。2017年に十勝支庁がまとめたカロリーベースの試算によると「十勝の食料自給率は約1,100%」と、人口の11倍となる約400万人の食を支えている地域である。日本最大の食料基地として安心・安全・美味しい食材を提供する大きな役割が期待されている。

畑作や酪農を中心とした農業が非常に盛んな地域で、北海道一の畑作地帯である。広い耕地に機械を活用した大規模農業が発達している。大豆、小豆、甜菜、じゃがいもなどの有数な産地である。

乳製品（牛乳、チーズなど）や食肉、小豆製品などは「十勝産」を売り文句や商品名に盛り込んでいるものが多く、一種の地域ブランドとなっている。

また、菓子の材料となる砂糖（甜菜）や小豆の産地であるため製菓業も盛んである。「六花亭」や「柳月」など全国的にも有名な菓子メーカーの本店が存在する。

図1：北海道十勝地域<sup>1</sup>